
型枠工事標準見積内訳書

平成13年3月
(社)日本建設大工工事業協会

目次

	(ページ)
はじめに	1
分類 . 工事範囲の設定	2
分類 . 市場単価適用工事	3
分類 . 市場単価に含まれない工事	
市場単価補正・割増し工事	6
雑型枠工事	8
型枠関連雑工事	11

はじめに

「型枠工事標準見積内訳書」の作成主旨

日建大協の総会や理事会において、公共工事における市場単価方式の導入が普及するにつれて市場単価が一人歩きして、その前提条件にある補正・割増しや別途計上できる項目がなおざりにされ、下請契約が不利な方向に進みつつある現状と同時に、安い指値で受注する事による下請の原価割れによる窮状が指摘され歯止め対策が要望された。

そこで、経営委員会で検討した結果、日建大協としては会員各社が契約前の見積り時点において正しく原価を把握することが大切で、

(1) 市場単価方式を考慮しつつも市場単価の適用見積り項目以外に、現場打ち合わせや図面検討の結果、補正・割増しや別途計上が必要と思われる見積項目は別に用意して、その取り扱いを事前に元請と協議して

市場単価に補正・割増しを加えるもの

別途契約とするもの

別途契約または常備扱いとするもの

等を分類して見積もる必要がある。

(2) 指値の提示があった場合も、適正原価を事前に把握しておく必要がある。

等の理由から、統一的な型枠工事の原価計算の指針として「型枠工事標準見積内訳書」を作成することにした。

これを活用することにより、

・契約金の指し値があった場合、適正価格との差が拮める。

・オチのない見積りが出来、オチのないネゴが出来る。

・社内での実行予算にも使える。

等が期待でき、これがあれば「有利な受注ができる」というより、「守りを固めた見積作成ができる」という位置づけを狙っている。

ただ、見積り作成後の交渉・契約はあくまでも当事者の責任である。

「型枠工事標準見積内訳書」の構成内容

分類 ．工事範囲の設定表により工事範囲を明確化して記載

市場単価の【単価構成内容】は大筋で決められているものの細部に亘っての記載がないため(P.4～5参照)最初に細部を含めての工事範囲の明確化が必要である。工事範囲の設定は見積りの前提条件であり、責任施工範囲を明確化するものである。

現状は元請によって見積条件はまちまちだが、日建大協としては工事範囲を統一標準化し見積りに先だてて元請に提示打合わせしてその立場を明確にしておきたい。従って、ここでは市場単価方式の単価構成内容をにらみつつ型枠工事の㎡単価の対象となる主要項目をリストアップした。

分類 ．市場単価の適用工事の見積要領を記載

市場単価として物価版に掲載されている項目について記載した。物価版の資料を転記した。但し、市場単価方式のP.4の「単価構成内容」P.5の「留意事項」について日建大協としての工事範囲(見積条件)に整合しない部分については、修正希望箇所として頭部に(印)を付して明示した。

分類 ．市場単価に含まれない工事・別途計上工事を記載

ここでは、市場単価方式の中で設定されている前提と条件の異なる場合、即ち

・市場単価の適用範囲外のもの

・補正・割増しができるとされているもの、

・別途計上するとされているもの、

この外、分類 ．の日建大協としての工事範囲に含まれないものについて

市場単価の補正・割増し工事(別途契約を要望する)

雑型枠工事(別途契約を要望する)

型枠関連雑工事(別途契約または常備＝臨時扱いを要望する)

と3分類し、項目を記載した。いずれも事前に元請と打ち合わせる。

分類 . 工事範囲の設定(日建大協としての見積り条件)			
工事範囲(型枠m ² 単価の内容)		工事範囲(型枠m ² 単価の内容)	
項目	備考	項目	備考
【計画】		【組立て】	
組立・割付・加工図の作成		水平振れ止め建入れ直し用アンカー	
施工要領書の作成		型枠保持金物	
作業標準書の提出		打設コンクリート天端レベル出し	
型枠転用計画の作成		型枠工事の跡片づけ、清掃	
荷揚げ計画の作成		基礎法面型枠	
解体計画書の作成		階段踏面型枠	踏面型枠の有無と数量確認の事
		窓台型枠	
【材料】		コンクリート打設前の自主検査	要点要所については立会検査を受ける
型枠材料	せき板・緊張材・支保材・工器具等		
	サッシアンカー・天井インサート等	【コンクリート打設中】	
	は支給とする	コンクリート打設中の立合	型枠精度維持・保守点検修正
【加工】			
場外加工場の費用		【解体】	
		型枠の解体	
【場内運搬】	場外運搬費は、別項目で計上	柱の盛り替え	指示ある場合のみ
型枠材料の場内小運搬・荷捌き	荷揚げ、荷卸し、玉掛け、 合図を含む		
		【解体後】	
		型枠材の搬出	
【墨出し】		解体後の清掃	
型枠建込み用小墨出し	基準墨出しは元方支給とする	躯体の自主検査	
		型枠不良による手直し	

分類 . 市場単価適用工事(1)					
名 称	規 格 仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額
普通合板型枠	基礎		m ²		
	地下軸部 階高5.0m程度		m ²		
	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度		m ²		
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 B種 階高3.5～4.0m程度		m ²		
	ラーメン構造 地上軸部 C種 階高3.5～4.0m程度		m ²		
普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度		m ²		
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 B種 階高2.8m程度		m ²		
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 C種 階高2.8m程度		m ²		
運搬費	型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内		m ²		
運搬費	型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内		m ²		

(注1) 市場単価の【単価構成内容】及び<その他の設定条件>については次頁(P.4)に記す。

(注2) 「公共建築工事積算における「市場単価方式の導入」施行に際しての留意事項(建設大臣官房長官庁営繕部)」を次次頁(P.5)に記す。

分類 . 市場単価適用工事(2)

【単価構成内容】 下表は型枠工事の単価構成内容である。摘要欄の 印は単価構成に含み、×印は含まないものとする。

費目	構造内容	適用	主たる内容
材料費	主材料		せき板・緊張材・支保材（補助サポートを含む）
	補助材料		剥離材 簡易な目地棒・面木（打放し）
労務費	加工組立		小墨出し、加工（下拵え）、組立、コンクリート打設時合番
	解体掃除		解体、釘仕舞、ケレン、剥離材塗布、整理掃除
	荷揚げ		揚重機への積み込み、積卸し手間
	場内小運搬		水平小運搬
	持込材処理		余剰材の集積・片付け・管理・不要材の場外搬出、ただし残材処分費は含まない
	発生材処理		ゴミなどの指定場所への集積
	足場	×	-
雑費	型枠運搬費	×	加工した型枠等の現場への運搬費、作業所よりの搬出費等（別細目で計上）
	揚重機械費	×	設置された揚重機械費は別途
	機械損料		専用機械の損料
	製作図等		型枠下拵え図
諸経費			専門工事業者の諸経費は含む（元請の諸経費は含まない）

<その他の設定条件>

- (1)RCラーメン構造は、B1～5F 延べ床面積3,000㎡程度の事務所・庁舎。
- (2)RC壁式構造は、5F延べ床面積2,000㎡程度の共同住宅。
- (3)打放し合板型枠B・C種は建設省標準仕様とする。
- (4)建物形状は単純な物とする。
- (5)床版はフラットデッキを使用していないものとする。
- (6)目地棒（化粧目地、打継目地、誘発目地）、大面木は含まず。

【参考】 打放し仕上げの種別

種別	コンクリート表面の仕上がり程度
A種	目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とする。 (備考) 化粧打放し又は塗装仕上げ程度を施すコンクリート表面に適用する。
B種	目違い、不陸等の少ない良好な面とし、グラインダー掛け等により平滑に調整されたものとする。 (備考) 仕上げ塗材を施すコンクリート表面に適用する。
C種	打放しのままで、目違いばらいを行ったものとする。

(建設省「建築工事共通仕様書」より)

分類 . 市場単価適用工事(3)

『公共建築工事積算における「市場単価方式の導入」施行に際しての留意事項』

建設大臣官房官庁営繕部

共通事項

市場単価は、下記に示す内容を前提としているので、条件が大幅に異なる場合は、実情に応じて補正することができる。

- 1) 立地条件
 - 一般的な市街地
- 2) 建物種別、構造、建物規模
 - イ. 事務所・庁舎 RC・SRC造
延べ床面積 3000㎡程度
 - 共同住宅 WRC・RC・SRC
延べ床面積 2000㎡程度
- 3) 階高
 - イ. 事務所・庁舎 3.5m程度
 - ロ. 共同住宅 2.8m程度
- 4) その他の条件
 - イ. 建物形状は単純なものとする。
 - ロ. 単価は、設計数量に対応したものである。

型枠

- 1) 単価の適用範囲外
 - イ. 建築構造物等の型枠。
 - ロ. 型枠の材種は、合板とする。
- 2) 単価の適用範囲
 - イ. 片面型枠。
 - ロ. 排水桝用型枠。
 - ハ. 埋め殺し型枠。
 - ニ. 曲面・円形型枠。

- 3) 割増し・補正の適用
 - イ. 形状が複雑な建物は、単価を適宜割増しをすることができる。
 - ロ. 打放し合板型枠A種、工作物の基礎程度の型枠は、既存の参考歩掛りなどにより市場単価を補正する。
 - ハ. 階高による単価補正は、適宜行うことができる。
 - ニ. 運搬距離は30km(4t車)を標準とし、事情により適宜補正することができる。
- 4) 適用にあたっての留意事項
 - イ. 単価には、コンクリート打設時合番を含む。従って、コンクリート打設費を標準足掛りにより積上げ清算する場合は、労務工数の低減を要する。
 - ロ. 残材材処理費は単価に含まないので、別途加算する。
 - ハ. 標準的な面木は、単価に含む
ただし、化粧目地、ひび割れ誘発目地及び 大面木は、別途計上する。
 - ニ. 打ち放し面補修は、別途計上する。
 - ホ. ラーメン構造の地上型枠は、柱、梁、壁、床等の部位構成比が一般的な建物としている。
 - ヘ. 場内小運搬(水平小運搬)を含む。ただし、揚重機械費は別途とする。

鉄筋

以下略

分類 . 市場単価補正・割増し工事(1)					
補正・割増し項目	備 考	数 量	単 位	単 価	金 額
1. 建築構造部以外の型枠 (記念碑、モニュメント、特殊デザイン部等)	(大きさを記載し) 内容が多岐に亘るので、物件・名称・ 部位・仕様毎に見積る。		ヶ所 (又は) m ²		
2. 合板以外の型枠 (断熱材兼用型枠、デッキ、その他特種材)	全 上		m ²		
3. 片面型枠 (PC片面枠、山留対面型枠等)	全 上		m ²		
4. 埋殺し型枠	場所・部位を記載する。		m ²		
5. (1)曲面型枠	場所・部位・仕様を記載する。		m ²		
(2)円形型枠	全 上		m ²		
6. 複雑形状割増し (複雑平面、複雑立面、セットバック部、 傾斜部、特殊パラペット等)	内容が多岐に亘るので、物件・名称・ 部位・仕様毎に見積もる。		m ²		
7. 打放し合板型枠A種の部分	場所・部位を記載する。		m ²		

分類 . 市場単価補正・割増し工事(2)					
補正・割増し項目	備 考	数 量	単 位	単 価	金 額
8. 階高補正 市場単価の前提(事務所・嘲笑は3.5m程度、共同住宅は2.8m程度)より大の場合の割増し	階高3.5m～4.0mの場合： " 4.0 ～5.0 "： " 5.0 ～5.0 "： " 6.0 ～以上 "：		m ²		
9. 運搬費の補正(市場単価の前提は4t車30kmが標準) ・運搬距離が30km以上の場合 ・搬入路が狭く4t車が使えない場合 ・車が寄りつけず、担ぎ込み・担ぎ出しを要する場合 ・揚重機を使用できない場合 等の割増し	立地条件により現場単位で見積る。		m ²		
10. ラーメン構造で柱、梁、壁、床等の比率が極端に偏っている場合の補正・割増し	内容が多岐に亘るので、物件・名称・部位・仕様毎に見積もる。		m ²		
11. 工業化工法(PC工法等)採用の場合は現場型枠を部位別に積算し、補正・割増しを適用			m ²		
12. 特殊型枠の割増し ・逆打ち工法部型枠、・免震工法部型枠等	特殊工法別、部位別に見積もる。		m ²		
13. 発生材処理費			m ²		

分類 雑型枠工事(1)					
作業項目	備考	数量	単位	単価	金額
1. 捨コン止め型枠	H =		m		
2. 耐圧盤止め型枠	H =		m		
3. 煙突カポスタック型枠	= H =		m ²		
4. 仮設開口部止め型枠 仮設物に伴うダム部止め型枠	巾 = H =		m		
5. 仮設開口部・ダム部復旧型枠	場所・大きさを記載する。		ヶ所 (又は) m ²		
6. 排水溝等型枠 (外部廊下・バルコニーの側溝等)	H =		m		
7. ピット型枠(集水・排水桝等)	大きさを記載する。		ヶ所 (又は) m ²		

分類 . 雑型枠工事(2)					
作業項目	備考	数量	単位	単価	金額
8. 設備関係、消火器ボックス等の枠・箱入れ	大きさ = × ×		ヶ所		
9. 外壁窓枠欠込み材取り付け	巾、断面略図、寸法を記載する。		m		
10. シャッターレール及びモーター部欠込み型枠	巾、断面略図、寸法を記載する。		m		
11. エレベーターインジケーター部欠込み型枠	大きさ = × ×		ヶ所		
12. 打継ぎ型枠、除去等 (壁、梁、スラブ)	材種、巾、H等を記載する。		m		
13. スラブ段差の止め型枠	H =		m		
14. ブロック等の2重壁立ち上がり基礎型枠	H =		m		

分類 . 雑型枠工事(3)					
作業項目	備考	数量	単位	単価	金額
15. ブロック臥梁型枠	巾 = H =		m		
16. 工作用・機器等の基礎型枠 鳩小屋形状の給排気塔等型枠	場所、名称、大きさ、仕様等を記載する。		ヶ所 (又は) m ²		
17. 構造用スリット取り付け(水平、垂直)	場所、大きさ、仕様等を記載する。		m		
18. 防水立ち上がり等欠込み型枠	D = H =		m		
19. 防水立ち上がり押さえ型枠	H =		m		
20. 外溝型枠(花壇・擁壁等)	名称、仕様等を記載する。		m ²		
21. 目地棒・面木取り付け (化粧目地、打ち継ぎ目地、水切目地、ひび割れ誘発目地、ゴム目地、面木等)	名称、断面寸法・形状(略図)を記載する。		m		

分類 . 雑型枠工事(1)					
作業項目	備考	数量	単位	単価	金額
1. スリーブ取付け	= 、 L =		ヶ所		
2. 人通口取付け	= 、 L =		ヶ所		
3. 連通管・通気管取付け	= 、 L =		ヶ所		
4. アンカーボルト取付け	= 、 L =		本		
5. 対面型枠用アンカー取付け			ヶ所		
6. 同上用セパレーター溶接			ヶ所		
7. サッシュインサート取付け			ヶ		
8. 天井インサート・クーラーインサート・ 物干し用インサート等取付け			ヶ		
9. 足場キーパーインサート取付け			ヶ		
10. 手摺金物取付け			ヶ		
11. 木レンガ取付け			ヶ		
12. ファスナー金物取付け			ヶ		
13. 柱コーナーアングル取付け	L =		ヶ所		
14. マンホール取付け	=		ヶ所		

(注) 型枠金物以外は原則として材料支給、墨出しは別途協議する。

分類 . 型枠関連雑工事(2)					
作業項目	備考	数量	単位	単価	金額
15. タラップ取付け			本		
16. ドーレン取付け			ヶ所		
17. 丸環取付け			ヶ所		
18. 避難ハッチ取付け			ヶ所		
19. 打込み断熱材等取付け(壁)			m ²		
20. " (床)			m ²		
21. 差し筋墨だし・穴明け			ヶ所		
22. 耐圧盤下鉄筋組立用墨出し			m ²		
23. 止水板取付け			m		
24. 止水リング取付け			ヶ		

(注) 型枠金物以外は原則として材料支給、墨出しは別途協議する。